

令和3年度 政策評価調書

大項目 (分類)	人・地域	中項目 (政策の柱)	北海道の未来を拓く人材の育成	政策 コード	3(2)
関係部局	総務部	総合政策部	環境生活部	教育委員会	

【社会経済情勢（現状・課題）】

「全国学力・学習状況調査」の結果によると、本道では、一部の教科を除き、小・中学校の多くの教科で全国平均を下回っている。また、1日1時間以上勉強する児童生徒の割合は小・中学校とも全国と比べて低い状況にある。

道民の生涯学習は、スポーツや趣味的なものに比べ、地域のよさに触れる機会や課題を学ぶものが少ない状況にある。また、学んだ成果をまちづくりや子どもたちを育むための活動などに活かしている道民の割合は40%程度にとどまっている。

人口減少やグローバル化が急速に進行する中で、ふるさとに誇りを持ち、地域や産業を支える人材とともに、国際的な分野で活躍できる人材の育成が必要となっている。

いじめの問題や不登校等については、これまでも生徒指導・教育相談体制の確立や早期発見、早期対応に向けた取組を進めてきたが、依然として、いじめに苦しんだり、不登校となっている児童生徒が多数存在する状況にある。

【政策の概要】

- ふるさとへの誇りと愛着を育み、これからの北海道を担う人づくり 【3(2)A】
- グローバル化に対応した世界で活躍できる多様な人材の育成 【3(2)B】
- 次代の社会を担う子ども・青少年が健全に育成される環境づくり 【3(2)C】

※各小項目の内容は別紙のとおり

【総合計画の指標達成状況】

成果指標	指標名（単位）	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	達成率
	平均正答率の状況 小学国語／算数(%)	-	-	98.4/96.8	100/100	98.4%/96.8%
平均正答率の状況 中学国語／数学(%)	-	-	99.0/97.2	100/100	99.0%/97.2%	
児童生徒の体力・運動能力の状況 小学男子／女子(点)	49.3/48.6	49.1/48.7	49.1/48.7	50/50	98.2%/97.4%	
児童生徒の体力・運動能力の状況 中学男子／女子(点)	48.6/46.6	48.6/46.5	48.6/46.7	50/50	97.2%/93.4%	
生涯学習の成果を活用している住民の割合(%)	58.3	59.8	57.3	67.5	84.9%	
国際理解教育を行っている公立高校の割合(%)	100	100	100	100	100.0%	
外国人留学生数(人)	3,614	3,886	3,705	3,194	116.0%	
いじめに対する意識 小学校(%)	83.2	88.0	87.2	100.0	87.2%	
いじめに対する意識 中学校(%)	73.5	80.8	79.3	100.0	79.3%	

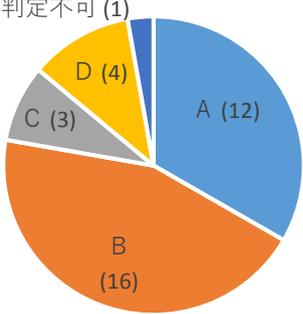
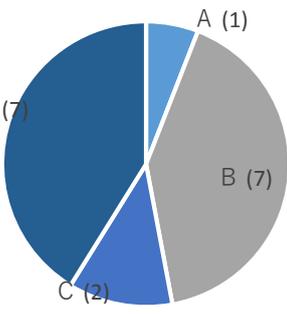
【政策を構成する施策の評価結果】

政策コード	施策コード	施策名	総合判定
3(2)A	01051	私立学校等への支援	順調
3(2)A	11011	確かな学力を育む教育の推進	概ね順調
3(2)A	11012	ICT活用教育の推進	遅れている
3(2)A	11031	心身の健やかな成長を促す教育の推進	概ね順調
3(2)A	11041	幼児教育・子育て支援の充実	順調
3(2)A	11051	特別支援教育の推進	概ね順調
3(2)A	11061	キャリア教育の推進	概ね順調
3(2)A	11071	生涯学習の推進	やや遅れている
3(2)B	01052	私立学校の国際教育への支援	順調
3(2)B	02111	グローバル人材等の育成	やや遅れている
3(2)B	02121	外国人の受入拡大	順調
3(2)B	11081	国際理解教育の充実	概ね順調
3(2)C	02131	いじめ防止対策の推進	概ね順調
3(2)C	03111	青少年の健全な育成	概ね順調
3(2)C	11091	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	概ね順調
施策の評価結果から算出した進捗状況			概ね順調

大項目 (分類)	人・地域	中項目 (政策の柱)	北海道の未来を拓く人材の育成	政策 コード	3(2)
関係部局	総務部	総合政策部	環境生活部	教育委員会	

【施策評価の指標の達成状況】

【補助指標の達成状況】

指標の達成状況	指標判定	指標数	指標の達成状況	指標判定	指標数
	A	12		A	1
	B	16		B	7
	C	3		C	2
	D	4		D	7
	判定不可	1		判定不可	0

【前年度二次評価意見】

区分	コード	施策名	事務事業	今後の取組の方向性
施策	11011	確かな学力を育む教育の推進	教職員計画研修費	今後、再び感染症が蔓延するような事態が発生した場合に備えるためにも、オンライン授業等の充実は不可欠であることから、早期に目標が達成されるよう、具体的な研修内容の充実方法について検討すること。
施策	11091	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業	ふるさとのことに対する興味・関心をもち、地域社会の一員としてまちづくりにかわる人材を育てることは、北海道の定住人口、関係人口に大きな影響を与えることから、そうした視点も持ち、関係部局との連携を図りながら、研修等の改善・充実に努めること。
事務事業	01051	私立学校等への支援	私立高等学校等授業料軽減補助金	学校間の公平性の観点のほか、国における制度拡充の趣旨や、保護者負担と道費負担を最大限軽減する観点を踏まえ、速やかに納付金から授業料へ振り替えを図ること また、振り替えを行った場合は、道内授業料平均額が国の補助上限額を上回ることから、都道府県ごとの授業料平均額が適切に支援金の補助上限額に反映されるよう国に働きかけること
事務事業	02121	外国人の受入拡大	国際交流推進費（北海道国際交流・協力総合センター補助金）	道の補助金等が団体の当期支出の2分の1を下回るよう道補助金等以外の財源の確保手段を模索するなど、収支改善策を検討し団体の自立化の推進に努めること
事務事業	03111	青少年の健全な育成	青少年育成推進事業費補助金	道の補助金等が団体の当期支出の2分の1を下回るよう道補助金等以外の財源の確保手段を模索するなど、収支改善策を検討し団体の自立化の推進に努めること
事務事業	01051	私立学校等への支援	私立幼稚園等管理運営対策費補助金（道単分）	国庫補助対象となっているのは、2名以上の心身障がい児が就園している幼稚園であるため、引き続き補助対象の拡大を国に対して要望すること。
事務事業	01051	私立学校等への支援	私立幼稚園等管理運営対策費補助金（交付税+国庫補助）	私学関連経費は、少子化の進展や毎年度の国の施策動向なども踏まえながら、引き続き助成水準を検討するとともに、補助制度の拡充や財源措置の拡充を国へ要望し、道費負担の縮減を図ること。
事務事業	01051	私立学校等への支援	私立高等学校管理運営対策費補助金（交付税+国庫補助）	私学関連経費は、少子化の進展や毎年度の国の施策動向なども踏まえながら、引き続き助成水準を検討するとともに、補助制度の拡充や財源措置の拡充を国へ要望し、道費負担の縮減を図ること。
事務事業	01052	私立学校の国際教育への支援	私立高等学校管理運営対策費補助金（交付税+国庫補助）	私学関連経費は、少子化の進展や毎年度の国の施策動向なども踏まえながら、引き続き助成水準を検討するとともに、補助制度の拡充や財源措置の拡充を国へ要望し、道費負担の縮減を図ること。

【評価委員の意見】

コロナ禍以前から成果指標が目標値に達していない状況が見られることから、様々な主体と連携するなど取組をさらに工夫し、人口減少やグローバル化が急速に進行する北海道を担う人づくりを推進すること
 北海道の未来を拓く人材の育成に向け、成果指標を適切に設定することで、目標の達成状況を適切に把握すること

大項目 (分類)	人・地域	中項目 (政策の柱)	北海道の未来を拓く人材の育成	政策 コード	3(2)
関係部局	総務部	総合政策部	環境生活部	教育委員会	

【政策の概要】

■ふるさとへの誇りと愛着を育み、これからの北海道を担う人づくり 【3(2)A】

- 人口減少社会にあっても地域の教育水準を維持するため、地域人材を活用した教育活動の支援やICTを活用した教育の推進など、地域の特性や実情等を考慮した教育環境の充実に取り組みます。
- 好奇心や探求心、豊かな感性など生涯にわたる基礎づくりを図るため、質の高い幼児教育・保育活動の提供を促進します。
- 全国平均以上の学力・体力をめざし、学校・家庭・地域が一体となって授業改善と望ましい生活習慣の定着に取り組み、本道の子どもの学力・体力のステップアップを推進するとともに、人を思いやる心や公共心、倫理観などの豊かな心を育む教育の充実を図ります。
- 障がいのある幼児児童生徒が能力や可能性を伸ばし、自立や社会参加が図られるよう、一人ひとりの教育的ニーズに応じた専門性の高い教育をできる限り身近な地域において受けられるための取組を推進します。
- 家庭・地域・企業などの協力を得て、一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育の充実を図ります。
- 将来にわたって暮らし続けたいと思える北海道づくりに向け、様々な学習ニーズに応え、学習の成果を人づくりや地域づくりに活かすための学習機会を提供するなど、生涯学習社会の構築に向けた社会教育の充実に取り組みます。
- 特色ある教育活動を展開する私立学校の教育条件の維持、生徒等の修学上の経済的負担の軽減などを図るため、私立学校などへの支援を行います。

■グローバル化に対応した世界で活躍できる多様な人材の育成 【3(2)B】

- 活力ある未来を拓くため、若者の留学支援や世界を舞台に活躍できる人材の育成、既成概念にとらわれないアイデアで「新たな価値」を創出する人材の発掘・育成を推進します。
- 外国人留学生をはじめ、アジアを中心とした海外の優秀な人材を有効に活用し、本道全体の発展につなげるため、関係機関・団体などとの連携を強化しながら、外国人の受入拡大に向けた環境整備や海外とのネットワークを形成します。
- 大学等の高等教育機関と連携・協働した教育の推進や、教育研究機能を活用した地域の活性化に関する取組を進めるとともに、本道の魅力ある高等教育機関づくりを推進します。

■次代の社会を担う子ども・青少年が健全に育成される環境づくり 【3(2)C】

- 未来を担う子どもたちが、健やかに成長できる環境づくりを進めるため、家庭・地域社会・関係機関と連携し、いじめ・不登校の未然防止や事案に対応するための取組を推進します。
- 子どもや青少年が健全に育成される社会の実現に向け、スマートフォンなどの急速な普及による過度なインターネット利用に起因する生活習慣の乱れや健康への影響、有害情報やトラブルから青少年を守るための関係機関が連携した取組などを推進します。